

様式第10号（第5条関係）

2019年4月23日

朝霞市議会議長 様

議員名 黒川 滋

政務活動費収支報告書（議員用）

朝霞市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり平成30年度（2018年4月分～2019年3月分）政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入

（単位：円）

科目	金額	備考
政務活動費	240,000	政務活動費
利子等	0	
合計	240,000	

2 支出

（単位：円）

科目	金額	備考
研究研修費	128,412	研修13件、交通費等込み
調査旅費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	114,599	専門紙・雑誌3点41794円、書籍36点58689円、文具等9点14116円
広報費	0	
広聴費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	243,011	

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載してください。

3 残額

▲3,011円

政務活動費 領収証貼付台紙 【研究研修費】

開催日時 平成30年4月20日 19:00~21:00

支払日 平成30年4月20日

精算日 平成30年4月27日

タイトル 神楽坂サロン「日本ではなぜ建築紛争が起きるのか」

講師 日置雅晴弁護士（景観と住環境を考える全国ネットワーク代表）

主催 景観と住環境を考える全国ネットワーク

会場 神楽坂キーストーン法律事務所5階会議室

新宿区神楽坂3-2 SHKビル

金額 1946円

内訳 参加費1,000円+参加交通費946円=合計1946円

領収書

深川 滋

様

2018年4月20日

★1,000円

神楽坂サロン参加費として上記正に領収いたしました。

〒162-0825 新宿区神楽坂3-2-5 SHKビル5階
景観と住環境を考える全国ネットワーク

支払証明書

金額					946	円
----	--	--	--	--	-----	---

上記の金額を支払ったことを証明します。
年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名 黒川 滋

経理責任者氏名 黒川 滋



(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年4月20日	交通費 志木 - 飯沼物 信後 473円 X信後	946円	

神楽坂サロン

日本では なぜ建築紛争が 起きるのか

かつてのようなマンション反対運動は少なくなったものの、今も普通の街並みのすぐ隣に高層マンションが計画されたり、見慣れた街並みや自然景観を一変させる再開発や建設計画が進むことによるトラブルはあとを絶ちません。

どうして日本ではこのような建築紛争が起きるのか、日本と欧米の街並みや制度を比較しながら、何が問題かどうすれば住みやすく美しい都市が実現できるのかを考えます。

2018年
4月20日(金) 午後7時～

講師 日置雅晴 (景住ネット代表・弁護士・元早稲田大学法科大学院教授)

会場 神楽坂キーストーン法律事務所 5階会議室
新宿区神楽坂3丁目2番地 SHKビル・JR飯田橋駅から徒歩5分

会費 1,000円

日置雅晴氏プロフィール●1956年 三重県生まれ、1980年東京大学法学部卒業、1982年4月司法修習終了、弁護士登録(第二東京弁護士会)、2002年 キーストーン法律事務所開設、2008年 神楽坂キーストーン法律事務所開設、2009年 早稲田大学大学院法務研究科(法科大学院)教授就任、都市住宅学会会員、世田谷区福祉的環境審議会委員、埼玉県防災まちづくり審議会委員、国立市まちづくり条例 検討委員、練馬まちづくり条例 検討委員など
著書『ケースメソッド環境法』(日本評論社 第3版2011年 共著)、『新・環境法入門』(法律文化社 2007年 共著)、『最強の住宅相談室』(ポプラ社 2005年 共著)ほか

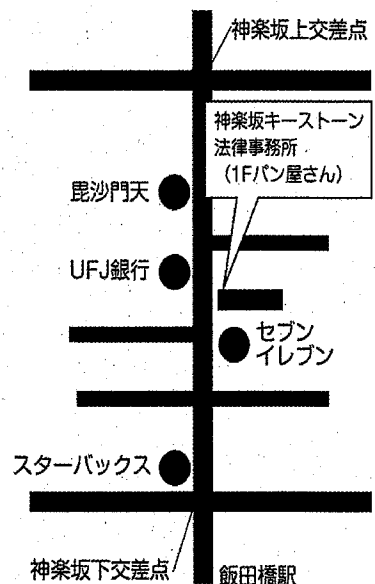
※終了後、懇親会を予定しています。(会場未定、費用別途)

※いずれも事前に申込が必要です。申込なしでご来場頂いた場合は資料や席が用意できないことがあります。

当日、都合が悪くなった場合はキャンセルをお願いします。

※定員に達し次第締め切らせて頂きます。

申込み・問い合わせ 510@machi-kaeru.com



主催 景観と住環境を考える全国ネットワーク



志木→飯田橋 2018年04月20日18:40到着

17:59発→18:32着 33分(乗車29分) 乗換：1回 22.7km
 IC優先：473円 定期券 通勤：1か月 18,690円 / 3か月 53,270円 / 6か月 100,940円

17:59	志木	乗車位置：前/中[10両]
4駅	東武東上線快速・池袋行 3・4番線発	308円
18:19着 18:23発	池袋	
4駅	東京メトロ有楽町線・新木場行 3番線発→3番線着	165円
18:32	飯田橋	

出発地の周辺地図

到着地の周辺地図

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年5月5日 14:00~6日 12:00

支払日 2018年5月5日

精算日 2019年3月19日 (5)

研修内容 「LGBTを基礎から理解して議会質問政策提言に活かせる研修会」

主催者 LGBT自治体議員連盟

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

金額 6,172円

内 訳	参加費	5,000円
	志木→市谷往復交通費	1,172円
	志木→池袋	東上線交通費 308円
	池袋→新宿	JR線交通費 154円
	新宿→参宮橋	小田急線交通費 124円
	合計	586円×往復

領 収 書

No. _____

黒川 滋 様

2018年5月5日

金額 ￥ 5,000

但 第2回LGBT自治体議員連盟研修会参加費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

(団体名) LGBT自治体議員連盟

(会計) _____

支払証明書

金額				1	1	7	2	円
----	--	--	--	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名 黒川 滋

経理責任者氏名 黒川 滋

(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年5月5日 6日	交通費 志木-岩宮橋 586円 586円	1172円	

第2回 LGBT自治体議員連盟研修会

レズビアン・ゲイ・バイセク
シュアル(LGB)とトランス
ジェンダー(T)の2つの講座を
基礎から分かりやすい!

2日目は日本最大のLGBTイベント
「TOKYO RAINBOWPRIDE2018」
に参加

多くのLGBT当事者と交流できる!
生の声を聞ける! LGBT関連の
NPOとも交流のチャンス

LGBTを基礎から理解して、議会質問、 政策提言に活かせる研修会

2018年

日時

5月5日(土曜)・6日(日曜)

5日 14:00~(13:30受付開始)、6日 9:30~(9:00受付開始)

会場

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4F、1F
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (小田急線:参宮橋下車徒歩7分)

参加費: ¥5,000 定員: 200名
(2日間通し料金)

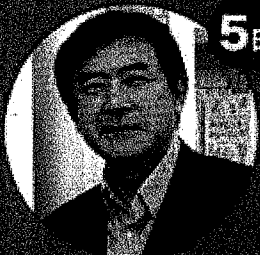
- *1日のみ参加の場合も同一料金でお願いします
- *対象:自治体議員(予定候補を含む)
- *お申し込みと同時に議連へご加入となります [年会費不要]



LGBT自治体議連 こくちーず

お申込は
こちらから!

両日とも
最先端の講師陣
による充実の
講座



中塚幹也さん
(慶応大学文学部教授)



日高廣晴さん
(玉環大学看護学創設教授)



谷口洋幸さん
(金沢大学国際基礎教育院准教授)

主催: LGBT自治体議員連盟 (正式名称: 性的指向と性自認に関する施策を促進するための地方自治体議員連盟)

お申し込み: <http://kokucheese.com/event/index/511340/> (こくちーず)

お問合せ: lgbtjichitaigiren@gmail.com 03-4566-2961 (石川)

LGBT自治体議員連盟とは？

2017年、LGBT当事者の自治体議員5名が世話人となり発足しました。同性パートナー制度の創設や自治体におけるLGBT施策の促進のため、勉強会等の開催、会員相互の親睦と情報交換を目的に活動しています。年会費はなく、イベントなどの会員として参加しやすい、超党派の議員連盟です。現在200名ほどに参加いただいています。



研修会プログラム

5月5日(土)、受付13:30～

会場:センター棟4F(417/セミナーホール)

【第1講座】14:00～15:30

「トランスジェンダー、性同一性障害の実態と支援」

講師:中塚幹也さん(岡山大学医学部教授)

医師として性同一性障害の治療に従事するとともに、GID(性同一性障害)学会理事長として、社会的課題に取り組んできた経験をお話いただけます。2018年4月から手術療法の保険適用が実現しましたが課題も残っています。学校や職場での対応・支援、特例法、生体医療と家族形成などの問題についても解説いただけます。

【第2講座】16:00～17:30

「初心者も安心!豊富なデータを基に”取得できる”LGBTの基礎知識」

講師:日高南晴さん(宝塚大学看護学部教授)

自治体での豊富な研修実績を基に、基礎からしっかり理解でき、初めて参加の方も安心な講座です。数万人の当事者を対象にした国内最大規模の意識・行動調査など、豊富な社会調査のデータに基づき、議会資料で役立つ、当事者を捉えられる情報をわかりやすくお届けします。

18:00懇親会(別途会費:¥5000、定員80名)

5月6日(日)、受付9:00～、会場:センター棟1F102

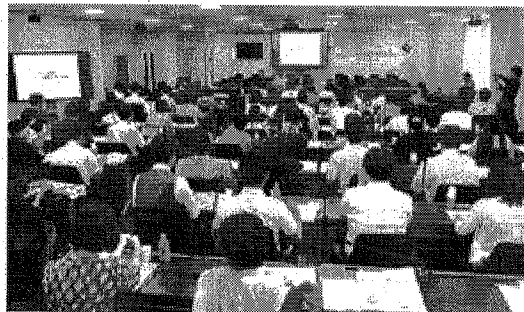
【第3講座】9:30～11:00

「全国自治体関連施策調査の結果と日本学術会議の提言について」

講師:谷口洋幸さん(金沢大学国際基幹教育院准教授)

自治体のLGBT施策の取組みに関する2016年調査の結果と、日本学術会議のLGBTに関連する施策の提言書内容について、調査・提言を提出された方からのお話です。各自治体の取組み状況を理解することで、みなさんの自治体で何から取組むべきか、どんな施策が実現しやすいかを学びます。

第3講座終了後、「東京レインボープライド2019」会場へ移動します。自治体、企業、NGOなどのブース見学をした後、実際にパレードに参加します。(パレードは正午前後スタート・終了15:30目安)



LGBT自治体議員連盟に参加される方を募集しています。



LGBT自治体議員連盟では、政連へのメンバーを広く募集しています。LGBT施策に賛同し推進する立場の自治体議員でしたら党派は問いません。メールアドレスとお名前(議会名)をお知らせください。年2回程度の研修会などの情報をお届けします。年会費は一切かかりません。ぜひ、この機会にご参加をお願いします。(今回の研修に参加できない方もお申し込み下さい。次回の研修会は18年夏を予定)

今すぐ連盟にご参加を!

参加受付: lgbtjichitai@giren@gmail.com



志木→参宮橋 2018年05月05日12:45到着

11:52発→12:38着 46分(乗車32分)

乗換：2回 24.1km

IC優先：586円 定期券 通勤：1か月 20,850円 / 3か月 59,430円 / 6か月 109,670円

11:52	発 志木	乗車位置：前/中/後[10両]
5駅	東武東上線準急・池袋行 3・4番線発	308円
12:13着 12:17発	池袋	乗車位置：前/中[11両]
4駅	J R 山手線内回り・新宿・渋谷方面 6番線発→14番線着	154円
12:25着 12:35発	新宿	
2駅	小田急小田原線・本厚木行 8番線発→1番線着	124円
12:38	着 参宮橋	

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印

印

印

印

印

政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年5月14日 10:00~16:20

支払日 2018年5月14日

精算日 2019年3月 日 ⑨

研修内容 「第27回地方×国政策研究会」

主催者 自治体義下院政策情報センター虹とみどり

会場 衆議院第一議員会館第二会議室

金額 3,006 円

内訳 参加費 2,000 円

志木→永田町往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308 円

池袋→永田町 地下鉄交通費 195 円

合計 503 円×往復

地方×国政策研究会

領収証

黒川 滋 様

2,000 円

但し 政策研究会参加費として

2018年5月14日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり
〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

支払証明書

金額			4	/	0	0	6	円
----	--	--	---	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者（議員）氏名

黒川

滋

経理責任者氏名

黒川

滋

(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年5月14日	交通費 志木→池袋 308円×往復 池袋→阿武野 195円×往復	616円 390円	

第27回 地方×国政策研究会

2018年5月14日(月)

10時～16時10分 受付 9時30分開始

場所：衆議院第1議員会館 第二会議室

会員議員 2,000円 町村議員 2000円

非会員議員 4,000円

会員市民 無料 / 非会員市民 500円

主催 自治体議員政策情報センター虹とみどり

〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

テーマ1 公共施設等総合管理計画・個別施設計画の策定 *10時スタート 開会挨拶 (10分)

10:10～10:55 総務省 全国自治体の公共施設管理計画の状況 (15分)

環境省 焼却施設の状況 (15分)

文部科学省 学校施設・生涯学習施設などの状況 (15分) それぞれ説明

10:55～11:10 質疑応答<10分休憩 職員との名刺交換など>

11:10～11:40 「静岡市のアセットマネジメント～実効性あるアセットマネジメントを進めるために～」

山田孝さん(静岡市企画局アセットマネジメント推進課参与兼課長補佐)

11:40～12:00 質疑応答

12:00～13:00 [昼食休憩 同じ建物に食堂・コンビニあり]

テーマ2 会計検査院の仕組みと2016年、17年報告の中の主な自治体関係調査結果

13:00～13:30 会計検査院 しくみ、自治体の土地の売買、公共入札(説明)

13:30～14:00 質疑応答 <10分休憩 職員との名刺交換など>

テーマ3 公文書管理法の現状と課題と自治体条例制定の現状と課題

14:10～14:50 内閣府、総務省からの説明

14:50～15:00 質疑応答 <10分休憩 職員との名刺交換など>

15:10～16:10 三木由希子さん講演(NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長) 質疑応答

16:10～16:20 まとめ、閉会の挨拶

*時間帯、順序などについては変更の可能性があります。



志木→永田町 2018年05月14日09:45到着

08:56発→09:41着 45分(乗車38分)



乗換：1回

25.6km

IC優先：503円 定期券 通勤：1か月 19,200円 / 3か月 54,730円 / 6か月 103,690円

08:56 発 志木

乗車位置：前/中[10両]

5駅

東武東上線準急・池袋行 3・4番線発

308円

09:18着
09:25発 池袋

7駅

東京メトロ有楽町線・新木場行 3番線発→1番線着

195円

09:41 着 永田町

発 出発地の周辺地図



着 到着地の周辺地図



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印

印

印

印

印

政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年5月22日 10:30~17:30

支払日 ~~2018年5月22日~~

精算日 ~~2019年5月23日~~ ⑩
2018年5月

研修内容 「自治体議会で行く公文書管理条例制定の課題とポイント」

主催者 NPO 法人情報公開クリアリングハウス

会場 中央大学駿河台記念館

金額 9,006 円

内訳 参加費 8000 円

志木→お茶の水往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308 円

池袋→お茶の水 地下鉄交通費 195 円

合計 503 円×往復

領 収 書

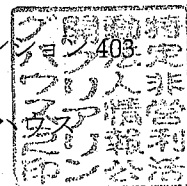
2018年5月22日

黒川滋 様

金額 8,000 円

自治体議員セミナー 自治体ガバナンスの進化に向けて (2018/5/22 開催)
自治体議会で行く公文書管理条例制定の課題とポイント受講料として

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 16-4 芝本マン
TEL03-5269-1846 FAX03-5269-0944
特定非営利活動法人情報公開クリアリングハ



支払証明書

金額			4	1	0	0	0	円
----	--	--	---	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名

黒川

滋

経理責任者氏名

黒川

滋

(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年5月22日	交通費		
	志不→池袋 308円 X 往復	616円	
	池袋→子爵町 195円 X 往復	390円	

自治体議会で取り組む 公文書管理条例制定の課題とポイント

日時 2018年5月22日(火) 10時半～17時半
会場 中央大学駿河台記念館5階510号教室
御茶ノ水駅、新御茶ノ水駅より徒歩3分、千代田区神田駿河台3-11-5
受講料 8,000円(主催者会員 4,000円)
定員 50名(先着)

公文書管理のあり方は、行政の事務事業や政策決定の信頼性にかかわる問題であることが、広く理解されるようになりました。その一方で、文書管理そのものは自治体でも規則や規程で従来から行ってきたため、条例化に積極的ではない自治体が多く、公文書管理条例を制定した自治体はまだ限られます。

文書管理規則ではなく、なぜ公文書管理条例が必要なのか。それは、公文書管理を条例化することによって、公文書の作成や管理が、内部の取り決めから議会の議決を経た民主主義における決定事項になるからです。また、公文書管理条例は、従来の文書管理規則の条例化にとどめず、自治体活動をどう記録として残し、説明責任を果たすかというガバナンスの見直しを含むものになり得るものです。自治体議会で、どのように公文書管理条例の制定に取り組むべきか、これまで条例化した自治体の制定経緯なども踏まえて検討する機会としたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

◆プログラム ※詳しくは裏面へ

- ①公文書管理の条例化に向けた制度上の課題とポイント(10:30～12:30)
早川 和宏さん(東洋大学教授)
- ②自治体はなぜ公文書管理条例を制定したのかー制定自治体調査から(13:30～15:30)
渡邊 健さん(株式会社データ・キープ・サービス 常務執行役員)
- ③公文書管理の条例化を進めるステップを議会活動でどう作るか?(15:45～17:30)
三木 由希子(情報公開クリアリングハウス理事長)

お申込方法

- ①裏面のお申込票に記入の上 FAX か郵送で主催者までご送付ください
- ②裏面と同じ項目をメール (icj@clearing-house.org) でご送信ください
- ③webのお申込フォームもご利用いただけます <https://clearing-house.org>

主催 NPO 法人情報公開クリアリングハウス

〒160-0008 東京都新宿区三栄町16-4 芝本マンション403
TEL.03-5269-1846 FAX.03-5269-0944
E-mail icj@clearing-house.org
URL <https://clearing-house.org>

情報公開クリアリングハウスとは、1980年に「情報公開法を求める市民運動」として発足。情報公開法の制定とともに1999年に組織改編等を行いNPO法人情報公開クリアリングハウスとなる。情報公開制度や個人情報保護制度、公文書管理制度、公益通報者保護制度、秘密保護制度など公的機関における情報の管理をアクセスに関する制度・政策を中心に調査研究、意見表明などを行うとともに、国会議員・自治体議員の政策支援、報道機関やジャーナリスト・市民・NPOの制度利用支援、自治体の制度運用への関与・研修なども行っている。

10:30~12:30

1 公文書管理の条例化に向けた制度上の課題とポイント

すでにある文書管理規則との関係、自治体内で蓄積されてきた文書管理の方法なども踏まえつつ、自治体で公文書管理条例を検討する際にどのような課題があり、何がポイントになるのか。自治体での文書管理の実態を踏まえてお話しいたします。

講師 早川 和宏さん(東洋大学法学部教授)

2011年に報告書「公文書管理条例の制定に向けて～より良い公文書等の管理を目指して～」の取りまとめを行った地方公共団体公文書管理条例研究会の座長を務め、自治体における公文書管理条例の制定についての研究に携わる。現在、相模原市情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会委員、過去には安曇野市文書館業務検討委員会委員、藤沢市「公文書等管理に関する有識者会議」委員、鳥取県立公文書館在り方検討会議委員を務めている。日本アーカイブズ学会副会長、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員。

13:30~15:30

2 自治体はなぜ公文書管理条例を制定したのかー制定自治体調査から

数少ない公文書管理条例を制定した自治体は、なぜ、条例を制定するに至ったのか。15箇所の自治体で担当者ヒアリング調査を行い、その過程の実態や条例を比較研究した経験から、自治体での条例化に向けた検討の課題などをお話しいたします。

講師 渡邊 健さん(株式会社データ・キーピング・サービス 常務執行役員)

1993年、大卒新卒で第一勧業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)に入行。2002年から記録・情報管理サービス業界へ。経営学修士(MBA)、アーカイブズ学修士。2015年、学習院大学大学院アーカイブズ学専攻における修士論文のテーマは「日本の地方自治体における公文書管理条例の制定過程についての研究」。日本政策学校第1期生であり、2015年の統一地方選挙では公文書管理条例の制定を政策の一つに掲げ立候補した経験を持つ。

15:45~17:30

3 公文書管理の条例化を進めるステップを議会活動でどう作るか?

公文書管理の条例化は、議会で主導的に行うことは現実的にはなかなか難しい課題です。しかし、条例化を促し、何がそれぞれの自治体における文書管理の課題かを明らかにし、それをどのように解決しようとしているのかなど、議会活動を通じて条例化のさまざまな段階ですべきこともあります。そのステップを考えます。

講師 三木 由希子(情報公開クリアリングハウス理事長)

1996年より情報公開法を求める市民運動スタッフ。1999年に情報公開クリアリングハウスの発足とともに室長・理事。2010年より理事長。情報公開制度や公文書管理制度などについて、情報公開制度を活用して公文書を基本にした調査研究、実情把握、政策分析などを行い、具体的な政策提案・意見表明を行う活動を行う。執筆、講演、研修講師などを多く務めるほか、メディアでも積極的に発言。自治体や国の第三者機関の委員も過去に務め、現在は町田市、八千代市で委員を務める。専修大学非常勤講師。

お申込票(FAX.03-5269-0944)

お名前	
ご所属	
ご住所	
E-mail	
備考	※領収書の宛名などご指定がある場合はご記入ください



志木→御茶ノ水 2018年05月22日10:15到着

09:42発→10:14着 32分(乗車28分)

乗換：1回 24.2km

IC優先：503円 定期券 通勤：1か月 19,030円 / 3か月 54,240円 / 6か月 102,770円

09:42	志木	乗車位置：中[10両]
2駅	東武東上線快速急行・池袋行 3・4番線発	308円
09:59着 10:03発	池袋	
5駅	東京メトロ丸ノ内線・荻窪行 2番線発→1番線着	195円
10:14	御茶ノ水	

出発地の周辺地図

到着地の周辺地図

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年7月3日 14:00~17:00

支払日 2018年7月3日

精算日 2019年3月3日 (12)

研修内容 「シリーズ議会図書室改革 図書館と議会の連携」

主催者 ローカルマニフェスト推進地方議員連盟

会場 図書館流通センター本社ホール

金額 5,946円

内訳 参加費 5000円

志木→茗荷谷往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308円

池袋→茗荷谷 地下鉄交通費 165円

合計 473円×往復

領 収 書

黒川 遼

様

¥ 5,000

但： 研修会参加費 として

2018年7月3日

一般社団法人マニフェスト研究会

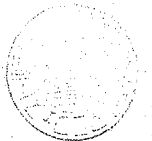
ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局

〒103-0027

東京都中央区日本橋 1-4-1

日本橋一丁目三井ビルディング 5階

電話：03-6214-1315



支払証明書

金額				4	9	4	6	円
----	--	--	--	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名

黒川

滋

経理責任者氏名

黒川

滋

(支払金内訳)

支 出 日	使 途	金 額	備 考
2018年17月3日	交通費 志木→池袋 308円×往復	616円	
	池袋→荻窪 165円×往復	330円	

図書館と議会の連携

図書館と議会図書室を活用した政策づくりを学びます!!

7月3日(火) 14:00~17:00

議会改革の新たな視点として注目してきた議会図書室改革勉強会の5回目を開催します。今回は、公共図書館による議会支援の具体例と図書館政策の最新事例を伺い、今後の議会改革、議会図書室の方向性を学びます。どうぞご参加ください!

第一部 図書館政策の最新事例

【事例報告1】

最新図書館事例報告

株式会社図書館総合研究所 佐藤達生さん

【講演1】

行政文書管理に関する支援業務

TRC-ADEAC株式会社 阿部匡輔さん

【事例報告2】

タブレットを活用した電子図書活用

東京インターレイ 君島雄一郎さん

第二部 公立図書館による議会支援

【事例報告3】

議会図書室への公共図書館の見方・関わり方

～愛知県田原市中央図書館による議会、行政支援～

田原市図書館 司書 七原千紘さん

議会事務局からの相談から議会支援が始まった事例報告です。定例会に合わせた貸出や、行政視察等の調査などが行われています。他自治体への導入のポイントや課題、今後の方向性などを伺います。

第三部 論点整理とディスカッション

【講演&ディスカッション】

議会改革と議会図書室改革のポイント

山梨学院大学教授 江藤俊昭さん

議会図書室改革への視点と公立図書館との連携など今後の議会改革の方向性を参加者と議論します。

■場所：図書館流通センター本社ホール（東京都文京区大塚3-1-1 地下鉄丸の内線・茗荷谷駅前）

■対象：地方議員、議会事務局職員、地方自治、図書館行政に関心のある方など

■参加費：3000円（ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟会員）

5000円（地方議員ビジター）

2000円（市民、議会事務局、自治体職員など）

■主催：ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟

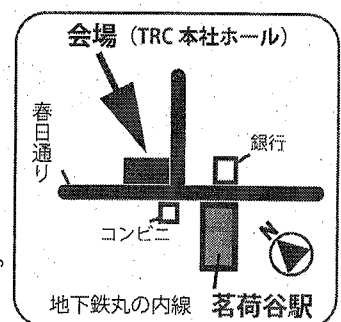
■協力：早稲田大学マニフェスト研究所、株式会社図書館総合研究所、専門図書館協議会

■申込み：ホームページ <http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/> の専用フォーマット。
もしくはFAX(03-6214-1186)でお名前、所属、連絡先をご記入の上お申し込みください。
当日受付もありますが定員(60名)のさいはご容赦ください。

■問合せ：ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟事務局（マニフェスト研究所内）

TEL 03-6214-1315 EMAIL mani@maniken.jp

※終了後、情報交換会もあります（参加費別）



<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

YAHOO! 路線情報
JAPAN

志木→茗荷谷 2018年07月03日13:45到着

13:15発→13:45着 30分(乗車27分) 乗換：1回 20.8km

IC優先：473円 定期券 通勤：1か月 18,360円 / 3か月 52,330円 / 6か月 99,160円

13:15	志木	乗車位置：中[10両]
5駅	東武東上線準急・池袋行 3・4番線発	308円
13:37着 13:40発	池袋	
2駅	東京メトロ丸ノ内線・新宿行 1番線発→1番線着	165円
13:45	茗荷谷	

出発地の周辺地図

到着地の周辺地図

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年7月28日 14:00~29日 15:00

支払日 2018年7月28日

精算日 2019年3月19日 (16)

研修内容 「市民と議員の条例づくり交流会議 2018」

主催者 市民と議員の条例づくり交流会議

会場 法政大学外濠校舎

金額 11,892円

内 訳	参加費	10,000円
	志木→市谷往復交通費	1,892円
	志木→池袋	東上線交通費 308円
	池袋→市谷	地下鉄交通費 165円
	合計	473円×2往復

領 収 書

2018年7月29日

黒川 滋様

10,000円

交流会議2018夏企画 参加費として

上記正に領収いたしました

市民と議員の条例づく

り交流会議
〒102-0082 東京都千代田区三番町9-7-6F
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463



支払証明書

金額				1	8	9	2	円
----	--	--	--	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名

黒川 滋

経理責任者氏名

黒川 滋



(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年7月 28日 29日	交通費 志木-宿ヶ谷 473円X 2往復	1,892	

市民と議員の条例づくり交流会議2018 (第18回)

プログラム

>>>>

7月28日 (土) 法政大学外濠校舎6F薩埵ホール (開場13時半)

>>

14時-17時

セッション1 「自治体議会改革は、社会とどうつながっているか？」

01

廣瀬克哉・自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表／法政大学教授・副学長【基調講演】

長野基・首都大学東京／市民と議員の条例づくり交流会議運営委員
法政大学現代法研究所「自治体議会プロジェクト」メンバー

18時-19時30分 (交流会)

>>>>

7月29日 (日) 法政大学外濠校舎6F薩埵ホール (開場09時半)

>>

10時-12時

セッション2 「保育と議会の責任」

07

司会：黒川滋 (朝霞市議会議員)

講演：小林美希さん (ジャーナリスト)

講演：小林美智子さん (茨木市議会議員)

※昼食は各自お取りください。

13時-15時

セッション3 「決算審査の可能性」

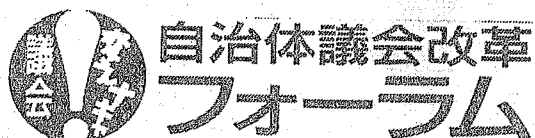
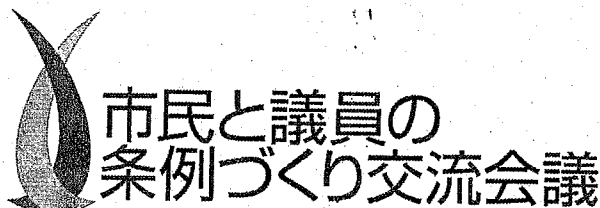
57

菅原敏夫・公益財団法人地方自治総合研究所【進行／コーディネーター】

横山すみ子・葉山町議会議員

田中富雄・大和大学准教授／元三郷市職員

>>>>



政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年8月11日 13:30~16:30

支払日 2018年8月11日

精算日 2019年3月19日 (20)

研修内容 「内部統制・監査制度等の改革と住民自治」

主催者 自治体学会議員研究ネットワーク

会場 図書館流通センター本社ホール

金額 6,972 円

内訳 参加費 0 円 (自治体学会会員のため無料)

志木→酒折往復交通費

志木→朝霞台 東上線交通費 144 円

北朝霞→甲府 JR線交通費 2,268 円

甲府→酒折 JR線交通費 144 円

立川→甲府 特急券 930 円

合計 3,486 円×往復

支払証明書

金額			4	6	9	7	2	円
----	--	--	---	---	---	---	---	---

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者（議員）氏名

黒川 滋

経理責任者氏名

黒川 滋



(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年8月1日	交通費		
	志平→朝凌台 144円×往復	288円	
	朝凌台→甲府 2268円×往復	4,536円	
	甲府→酒村 144円×往復	288円	
	特急券		
	甲府→立川 930円×往復	1,860円	

内部統制・監査制度等の改革と住民自治

～2017年地方自治法改正を素材に～

2017年地方自治法改正を住民自治の推進という視点から考えます。自治法の一部改正は、ガバナンスの強化という視点からの改革であると同時に、アングルをかえて読むと、住民参加や議会の拡充にも活用できます。改正によってどのような活用が可能なのか、またその際の留意点、課題は…。

特に、内部統制に関する方針の意義、監査制度の充実強化について考えます。監査制度改革では、監査基準策定、監査専門委員設置などのほか、議会選出監査委員の選択制という大きな転換もあります。今回の改正で「条例で議員のうちから監査委員を選任しないことができる」（新自治法196条1項）とされたことを受け、すでに大阪府議会や、大津市議会、大府市議会では議選監査委員を廃止した議会も出て来ています。

議会の監査機能をどう高めるのか、二元代表制の一翼を担う議会としての独立性は…。様々に賛否両論わかれる議選監査のあり方について、制度論や機能論だけではなく、現場の地方議会議員たちが自らの経験や現場からの体験をもとに、徹底討論します。



参加申込

会員 / 非会員、交流会参加の有無を明記の上、メールにてお申込み下さい。
kayako@ace.ocn.ne.jp

▶開催日時：2018年8月11日（土・祝）13:30～

▶開催場所：山梨学院大学 スポーツ科学部棟 101 教室

▶参加費：（一般）¥1,000.

（自治体学会 / ローカルガバナンス学会 会員・学生）無料

▶プログラム

◇基調講演：自治法改正の「内部統制や監査」について
講師 幸田 雅治（神奈川大学教授／弁護士／元総務省行政課長）

◇ディスカッション

コーディネーター：江藤 俊昭（山梨学院大学教授）

コメンテーター：廣瀬 克哉（法政大学教授）

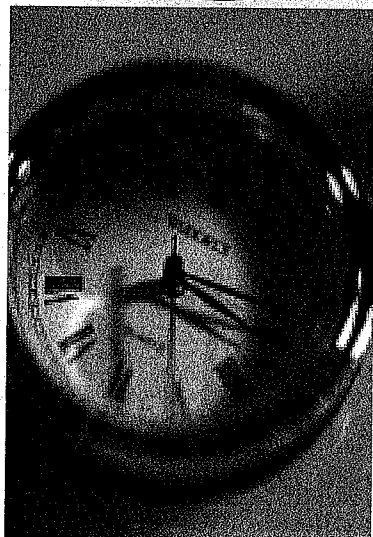
討論者（予定）：桑富健也（所沢市議会議員・議選監査委員経験者）、
小林華弥子（前由布市議会議員・議選監査委員経験者）、
清水克士（大津市議会局次長）、ほか。

◇交流会（別会場にて、会費別）

◇問合せ先：kayako@ace.ocn.ne.jp（自治体学会議員研究ネットワーク／小林）

◆主催：自治体学会議員研究ネットワーク、ローカル・ガバナンス学会

◆共催：山梨学院大学大学院 ◆後援：自治体学会





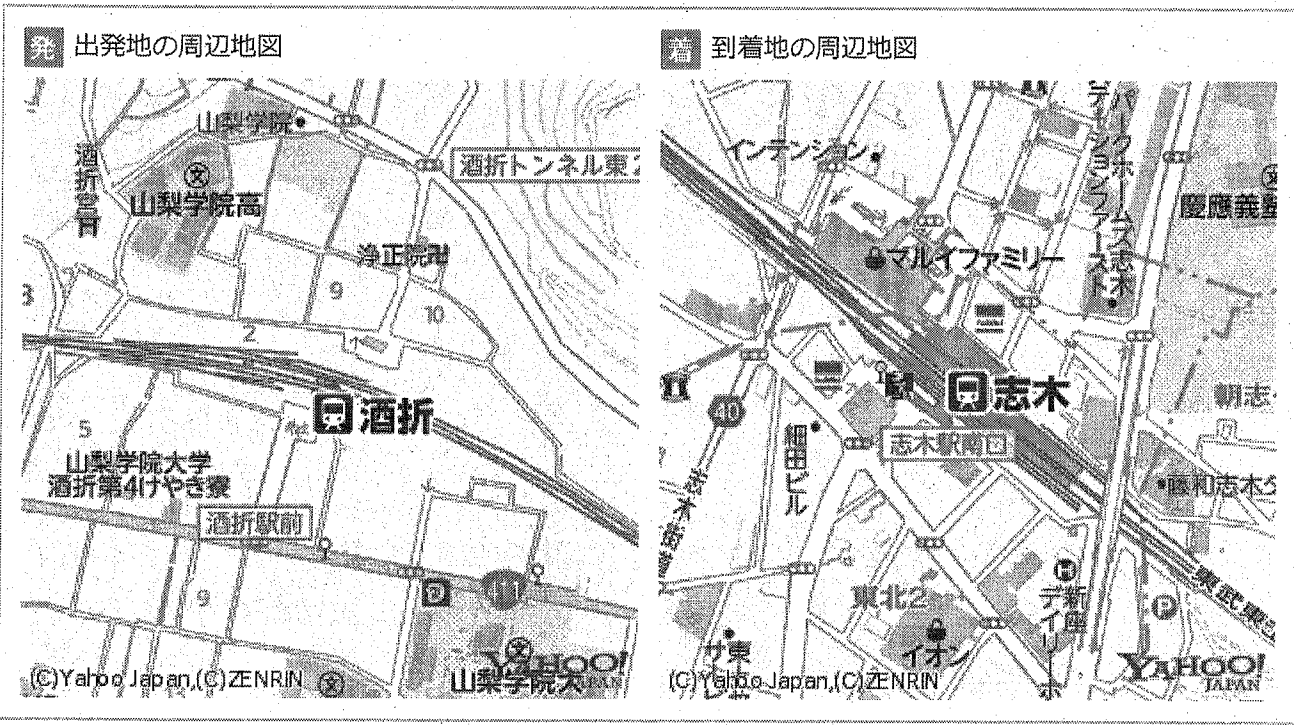
酒折→志木 2018年08月11日20:16出発

20:44発→23:10着 2時間26分(乗車1時間34分)

乗換：4回 124.5km

IC優先：3,486円 (乗車券2,556円 特別料金930円)

20:44	酒折		
	JR中央本線・甲府行		144円
20:48着 21:09発	甲府		
4駅	JR特急スーパーあずさ36号・新宿行	自由席：930円	2,268円
22:14着 22:18発	立川		乗車位置：中[10両]
2駅	JR中央線・東京行 3番線発→1番線着		
22:23着 22:36発	西国分寺		乗車位置：中/後[8両]
5駅	JR武蔵野線・新習志野行 4番線発→2番線着		
22:54着 22:56発	北朝霞		
	徒歩		
22:58着 23:08発	朝霞台		
	東武東上線準急・森林公園行 1・2番線発→1・2番線着		144円
23:10	志木		



YAHOO! 路線情報
JAPAN

志木→酒折 2018年08月11日13:00到着

10:41発→12:48着 2時間7分(乗車1時間37分) 乗換：4回 124.5km
 IC優先：3,486円 (乗車券2,556円 特別料金930円)

10:41	志木	乗車位置：中[8両] 前/中[10両]
	東武東上線・池袋行 3・4番線発→3・4番線着	144円
10:43着 10:44発	朝霞台	
	徒歩	
10:46着 10:50発	北朝霞	乗車位置：前/中[8両]
5駅	J R武蔵野線・府中本町行 1番線発→3番線着	2,268円
11:08着 11:14発	西国分寺	
2駅	J R中央線・八王子行 2番線発→5番線着	
11:20着 11:22発	立川	
2駅	J R特急あずさ13号・松本行 6番線発	自由席：930円
12:30着 12:45発	甲府	
	J R中央本線・高尾行	144円
12:48	酒折	



政務活動費 領収証貼付台紙 【研修研究費】

開催日時 2018年10月14日 13:00～17:30

10月15日 9:00～12:00

支払日 2018年10月14日 15日

精算日 2019年3月19日(22)

研修内容 「From Me 私が描く地域の明日」

主催者 PLANTS FROM ME (慶応大学井手英策研究室)

会場 慶応大学

金額 5,140 円

内 訳 参加費 3000 円

志木→田町往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308 円

池袋→田町 JR 線交通費 259 円

合計 567 円×往復

志木→永田町往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308 円

池袋→永田町 JR 線交通費 195 円

合計 503 円×往復

特記事項 参加募集がなく追加の SNS による会場連絡

井手 英策 2018年10月8日 ・

いよいよ開催日まで一週間を切りました！以下に会場等をお示しします。情報はみなさんへのご提供となりますが、今回は自治体議員さんとの学びの場です。その点だけご注意ください。

10月14日(日) 13時～ 慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 A 会議室

10月15日(月) 9時～ 衆議院第二議員会館第二会議室

なお、2日目は、入り口で入館証をお渡ししますので、なるべく遅刻のないようにお願いいたします。

お目にかかれますのを楽しみにしております。

領収書裏面

領 収 書

黒川 滋 様

発行日： 2018/10/14

¥3,000-

但し 研修会費用として
上記の金額正に受領いたしました

PLANTS FROM ME

会計担当

印 収

支払証明書

金額			¥	2	1	4	0	円
----	--	--	---	---	---	---	---	---

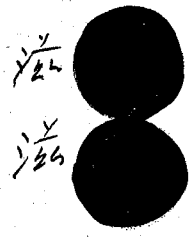
上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

会 派 名

代表者(議員)氏名 黒川

経理責任者氏名 黒川



(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年 10月14日	交通費 志木 → 池袋 308円 × 往復	616円	
	池袋 → 田町 259円 × 往復	518円	
10月15日	志木 → 池袋 308円 × 往復	616円	
	池袋 → 田町 195円 × 往復	390円	



志木→田町(東京都) 2018年10月14日12:45到着

11:45発→12:40着 55分(乗車52分)

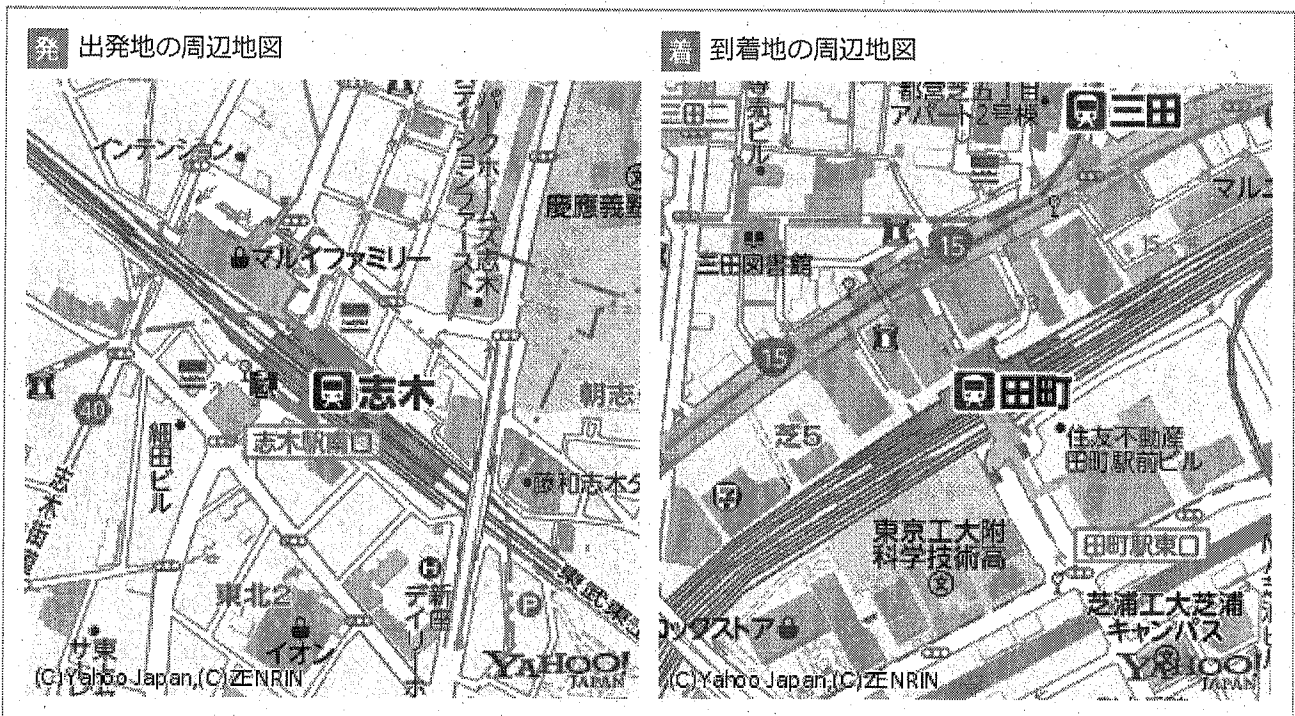


乗換：1回

35.4km

IC優先：567円 定期券 通勤：1か月 19,630円 / 3か月 55,970円 / 6か月 101,390円

11:45		志木	乗車位置：前/中/後[10両]
5駅		東武東上線準急・池袋行 3・4番線発	308円
12:07着 12:10発		池袋	
13駅		J R山手線内回り・新宿・渋谷方面 6番線発→2番線着	259円
12:40		田町(東京都)	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---



志木→永田町 2018年10月15日08:45到着

07:54発→08:42着 48分(乗車43分)

乗換：1回 25.6km

IC優先：503円 定期券 通勤：1か月 19,200円 / 3か月 54,730円 / 6か月 103,690円

07:54	発 志木	乗車位置：前/中[10両]
5駅	東武東上線準急・池袋行 3・4番線発	308円
08:20着 08:25発	池袋	
7駅	東京メトロ有楽町線・新木場行 3番線発→1番線着	195円
08:42	着 永田町	



(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印	印	印	印	印
---	---	---	---	---

From me～私がおえがく地域の明日～

【開催日時とお願い】

10月14日(日)～15日(月)

地域の未来を描くためには政策が必要です。政策を討論する14日へのご参加をぜひお願いします。15日のみの場合は、政策のプレゼンを聞くだけになりますが、それでもよい！という方は遠慮なくお申し込みください(下部の「わたしの政策」にお書き込みいただければ、討論材料にさせていただきます)。

◆勉強会内容

10月14日(日)

13時～ 井手英策先生 基調講演

14時15分～15時45分 政策づくりワークショップ (I) (得意分野でご発言ください)

16時～ 政策づくりワークショップ (II) (チーム替えをし、政策の絞りこみをします)

(1) 医療・介護、(2) 子ども・子育て支援、教育 (3) 障害者福祉、(4) 地域経済・コミュニティ、(5) 雇用・労働、(6) 農林水産業、(7) 中小企業・小規模事業者 (8) 防災の8分野に分かれて議論をします。

10月15日(月)

9時～12時 政策をチームごとに発表

◆対象者・テーマ

【みんなの税をみんなのために】

財源論から目をそらさずに、住民の将来不安をなくすための政策について考えたい地方議員の方。テーマは「くらし」です。外交、安全保障、原発、憲法といったテーマはあつかいません。

◆会費

資料代等として3000円をいただきます。

宿泊と会場場所までの交通費についてはご自身で手配をお願いします。

◆申込み締切日

9月14日(金)までをお願いします。以下の参加フォームに「自分が力を入れたい政策」を簡単にお書きください。

◆場所

14日は上野・田町・永田町あたりのいずれか、

15日は永田町近辺を予定しています。

詳細は参加者の方にご連絡します。

14日は勉強会終了後に懇親会も予定しています。

*必須

メールアドレス *

メールアドレス

議会名(都道府県名から) *

回答を入力

お名前 *

フリガナ *

回答を入力

住所 *

回答を入力

携帯電話 *

緊急の場合に連絡します。

回答を入力

参加日程

- 両日参加
- 14日のみ参加
- 15日のみ参加（あまり推奨はしません）
- その他:

参加希望部会 *

特にご自身が力を入れている政策、政策を作りたい分野を3つチェックしてください。貧困、ソーシャルワーカー、環境、男女平等についてはすべての項目にわたります。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（・若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・ワークライフバランス・マイノリティの雇用等）

希望した部会テーマについてのわたしの政策1【テーマ】*

上記で選択したテーマについてのご自身の政策を簡潔にご記入ください。勉強会での基礎資料となります。また、複数のテーマにまたがる場合にはご自身が一番ふさわしいと思うテーマを選んでください。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（・持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・マイノリティの雇用等）

わたしの政策1*

国政についての要望は【国政】とご記入ください。

回答を入力

希望した部会テーマについてのわたしの政策2【テーマ】*

上記で選択したテーマについてのご自身の政策を簡潔にご記入ください。勉強会での基礎資料となります。また、複数のテーマにまたがる場合にはご自身が一番ふさわしいと思うテーマを選んでください。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（・若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（・持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・マイノリティの雇用等）

わたしの政策 2 *

国政についての要望は【国政】とご記入ください。

回答を入力

わたしの政策 3 *

国政についての要望は【国政】とご記入ください。

回答を入力

希望した部会テーマについてのわたしの政策 3 【テーマ】 *

上記で選択したテーマについてのご自身の政策を簡潔にご記入ください。勉強会での基礎資料となります。また、複数のテーマにまたがる場合にはご自身が一番ふさわしいと思うテーマを選んでください。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（・若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（・持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・マイノリティの雇用等）

希望した部会テーマについてのわたしの政策4【テーマ】

上記で選択したテーマについてのご自身の政策を簡潔にご記入ください。勉強会での基礎資料となります。また、複数のテーマにまたがる場合にはご自身が一番ふさわしいと思うテーマを選んでください。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（・若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（・持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・マイノリティの雇用等）

わたしの政策4

国政についての要望は【国政】とご記入ください。

回答を入力

希望した部会テーマについてのわたしの政策5【テーマ】

上記で選択したテーマについてのご自身の政策を簡潔にご記入ください。勉強会での基礎資料となります。また、複数のテーマにまたがる場合にはご自身が一番ふさわしいと思うテーマを選んでください。

- 医療・介護（予防医療と地域医療・寝たきりゼロの介護・地域全体の最適化を目指すには）
- 子ども・子育て支援、教育（子どもを守る、育てる、教育現場支援）
- 障害者福祉（学び方、働き方、暮らし方）
- 地域経済・コミュニティ（・若者の人口流出・観光振興・自治会活動の支援）
- 農林水産業（・持続可能な農林水産業（担い手支援等）・生産力強化と消費拡大（海外展開促進も）・食育、地産地消の推進（消費者の育成））
- 中小企業・小規模事業者（経営の維持改善、人材の確保育成、賃上げ、商店街、支援の在り方等）
- 防災（減災、まちづくり、コミュニティ、インフラ）
- 雇用・労働（働き方・マイノリティの雇用等）

わたしの政策5

国政についての要望は【国政】とご記入ください。

回答を入力

場所が決定次第メールで連絡します *

承知しました

その他メッセージがありましたらどうぞご記入ください

回答を入力

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

reCAPTCHA
[プライバシー利用規約](#)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告 - 利用規約](#)

Google フォーム

政務活動費 領収証貼付台紙 【研究研修費】

開催日時 2018年8月24日 13:00~25日 16:15

支払日 2018年8月24日~25日

精算日 2019年3月19日(23)

タイトル 自治体学会青森大会

講師 岡崎昌之法政大学名誉教授ほか

参加分科会 研究発表セッション A議会

分科会① 自治体職員のネットワークのイカし方

主催 自治体学会

会場 青森市 リンクモア平安閣市民ホール

ねぶたの家ワ・ラッセ

金額 41,478円

内訳 参加費 0円 (企画部会員のため)
参加交通費 33,928円
宿泊費 7,150円
資料コピー代 400円

備考 ・議会運営委員会があったため、途中から出席した。
・参加費は企画部会員であるため無料となっている。

FamilyMart

青森駅前店
青森県青森市新町1丁目1番20号
電話: 017-722-6844

領収証

2018年 8月25日 (土) 12:42

様

合計 400円
(内消費税等 29円)

但し、コピー代として
上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願ひ>
財布・手帳等に入れ保管頂く場合、
印刷面を内側に折って保管をお願い
いたします。

管理番号: 35067672 00037279

FamilyMart

青森駅前店
青森県青森市新町1丁目1番20号
電話: 017-722-6844

領収証

2018年 8月25日 (土) 12:42

様

合計 400円
(内消費税等 29円)

但し、コピー代として
上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願ひ>
財布・手帳等に入れ保管頂く場合、
印刷面を内側に折って保管をお願い
いたします。

管理番号: 35067672 00037279

ご 明 細 書
STATEMENT

毎々の格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。
またのご来店を心からお待ち申し上げております。
Thank you for your staying with us. We are looking forward to serving you again.

ホテルルートイン青森駅前

HOTEL ROUTE INN
住所 青森県青森市駅前1-1-24
TEL 017-731-3611
FAX 017-731-3612
URL <http://www.route-inn.co.jp>

お部屋番号 ROOM NO 624	お名前 NAME 黒川 滋 様	人数 PERSONS 1	PA
ご到着日 ARRIVAL 18/08/24	ご出発日 DEPARTURE 18/08/25	発行日時 DAY/TIME ISSUE 18/08/25 00:43	備考 REMARKS 1089 *2793 0/01 1

日 付 DATE	お部屋番号 ROOM NO	摘 要 EXPLANATION	料 金 CHARGE	お 支 払 CREDIT	残 高 BALANCE
08/24		前受金 シングル	7,150	7,150	0

お支払総額 TOTAL AMOUNT DUE	¥7,150	ご請求額 AMOUNT DUE	¥0
		ご返金額 REFUND	

ご署名
SIGNATURE

領 収 書
RECEIPT

日付 18/08/25

1089

お名前
NAME 黒川 滋 様

金 額 AMOUNT DUE	¥7,150
-------------------	--------

上記金額確かに領収致しました(消費税含む)
We have receipt your payment.

ホテルルートイン青森駅前
HOTEL ROUTE INN

住所 青森県青森市駅前1-1-24
TEL 017-731-3611
FAX 017-731-3612
URL <http://www.route-inn.co.jp>



支払証明書

金額										円
			4	3	3	9	2	8		

上記の金額を支払ったことを証明します。

年 月 日

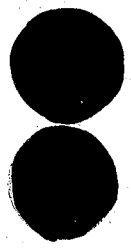
会 派 名

代表者（議員）氏名

黒川 滋

経理責任者氏名

黒川 滋



(支払金内訳)

支出日	使 途	金 額	備 考
2018年 8月24日	交通費 朝霞 → 朝霞台 北朝霞 → 青森 特急券 大宮 → 新青森	144円 10,150円 6,670円	
8月25日	交通費 青森 ← 北朝霞 朝霞台 → 志保 特急券 新青森 → 大宮	10,150円 144円 6,670円	

統一テーマ

たから

「地域の財と未来づくり」

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

第32回 自治体学会 青森大会

2018. 8/24 (金) ~ 8/25 (土)

大会参加

情報交換会

宿泊

エクスカーション

等のご案内



24日(金)

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

会場 リンクモア平安閣市民ホール
(青森市柳川1-2-14)

主催 第34回全国自治体政策研究交流会議
青森大会実行委員会
(青森県、青森市、青森県市長会、青森県町村会)

25日(土)

第32回 自治体学会 青森大会

会場 リンクモア平安閣市民ホール
(青森市柳川1-2-14)

ねぶたの家 W・ラッセ
(青森市安方1-1-1)
主催 自治体学会

地域の財たからと未来づくり

第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会

》ごあいさつ

第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会の開催に当たり、全国各地からのご来県を心より歓迎申し上げます。

青森県は全国有数の農業産出額を誇りますが、これは、世界自然遺産「白神山地」や八甲田連峰などの自然の恵みによるものであるとともに、広い県土の各地に存在する農山漁村集落により支えられています。地域の営みが人と文化を育む「ゆりかご」の役割を果たしながら、時代を超えて受け継がれ、新たな担い手を生み、世界に誇る火祭り「青森ねぶた祭り」などの豊かな文化を継承してきました。

世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の中心的存在である「三内丸山遺跡」では、未来を先取りするかのような持続可能な共生社会が長きにわたり形成されていました。この時代の集落の営みが現代に脈々と息づいているかのようです。

また、三方を海で囲まれた青森県は、古くから人やものが行き交う拠点でありました。「三内丸山遺跡」の出土品から、すでに縄文時代に他地域との広域的な交流・交易が行われていたことがうかがえます。近年では、北海道新幹線の開業や大型クルーズ客船の寄港増加、新たな国際定期便の就航など、国内のみならずグローバルな陸・海・空の交通の要衝として、ダイナミックな発展を遂げようとしています。

こうした交流のまち・青森にて、「地域の財(たから)と未来づくり」をテーマに政策研究の交流が行われることは、誠に意義深く、実り多き大会となりますことを期待しています。いにしえの時代に思いをはせながら未来の地域づくりの議論を深め、あわせてこの機会に、歴史や文化、自然や食といった青森の財(たから)をご堪能いただければ幸いです。

第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会
実行委員会委員長 田中 良斉(青森県総務部長)

第32回自治体学会青森大会

》ごあいさつ

第32回自治体学会の大会開催にあたり、自治体職員の自己研鑽の重要性を深く認識され、本大会をお引き受けくださり、大会運営に全面的な協力を頂いた青森県及び青森市の皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

とりわけ三村申吾青森県知事におかれましては、青森県下の市町村の皆さんに幅広くお声がけいただき、多くの自治体職員の方々の参加を得て、自治体学会の大会を開催することができることを深く感謝申し上げます。また、小野寺晃彦青森市長には、自治体職員の研修の意義を的確に認めてくださり、大会の開催に全面的な協力を得ることができました。

青森をはじめとする北東北から北海道にかけては、1万年というまれにみる長期にわたり、安定した縄文の集落が形成された他に類のない地域として、世界に誇ることで個性を有しています。稲作を中心とする農耕文化が日本に到達する以前に、多様な生態系を維持しつつ、長期にわたり豊かな文化圏を維持してきたことは、この地域がいかに豊饒な自然に恵まれていたかを示しています。また、それらの考古学遺跡が広い範囲で保存され、縄文の文化の豊かさを今日に伝えていることは、後世の人々がこうした環境に継続して敬意を払ってきた証しでもあります。

青森の地は、その意味でも、サステナブルな社会の今後のあり方を議論する恰好な場であると言えます。この地に、高い志を持った各地の自治体職員が集い、さらには地方議会の議員や地方自治に思いを致す研究者やジャーナリストなど、自治体のさらなる可能性を信じる自治体学会のメンバーが集い、今後のサステナブルな地方自治のあり方を議論する場が持てるということは、このうえない喜びです。

ここ青森の地で、地方自治のさらなる可能性を信じる多くの有志がネットワークの絆を深め、明日の元氣を得ることができることを確信し、ごあいさつとさせていただきます。

自治体学会理事長 西村 幸夫(神戸芸術工科大学教授)

《 開催概要 》

■ 第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月24日(金)	11:30 受付開始 12:55 青森県PRタイム 13:00 開会/あいさつ 13:10 基調講演 「人は財(たから)～あおもりを愛する人づくり～」 三村 申吾 青森県知事 14:10 青森市PRタイム 14:20 (休憩) 14:35 パネルディスカッション 「人口減少時代における地域の明日を考える ～地域力・地域資源を活かすしごと創りへの挑戦～」 ■コーディネーター 西村 幸夫 自治体学会理事長、神戸芸術工科大学教授 ■パネリスト(五十音順) 内海 弘次 (株)内海青果 代表取締役 大崎 陽一 あおもり地域ビジネス交流センター プランナー 小野寺 晃彦 青森市長 木村 尚子 mizuhiro(株) 代表取締役 16:25 自治体学会あいさつ 16:30 次期開催地あいさつ 16:35 閉会/あいさつ	リンクモア平安閣市民ホール 青森市柳川 1-2-14 (017-722-3770)	参加費 2,000円 ※青森県内在勤・ 在住者は無料
	17:30 情報交換会 ～19:30	青森国際ホテル 青森市新町 1-6-18 (017-722-4321)	参加費 5,000円

■ 第32回自治体学会青森大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月25日(土)	9:00 自治体学会総会 9:30 受付開始 10:00 基調講演 ～11:30 「地域の価値を確認し、未来を展望する」 岡崎 昌之 法政大学名誉教授(元自治体学会代表運営委員) 11:40 自治体学会賞表彰式 12:10 (昼食・休憩) 13:00 研究発表セッション ～14:00 A 議会 B 医療・健康と情報 C 政策法務・高齢化社会 D まちづくり E 産業廃棄物・非営利組織 14:15 分科会 ① 自治体職員のネットワークのイカし方 ② 都市と農山漁村の共生 ③ 「シェアリング」エコノミーと自治体政策 ④ へき地医療の現状と課題 ～へき地における健康政策と保健所機能を中心として～ ⑤ だれもが「住民」として守られるために ～避難者・困窮者の現場から～ ⑥ (地元企画) "あるもの活かし"の地域経営とインバウンド観光 ⑦ (公募企画) 行政組織における"参謀機能" ～首長と職員のかげ橋となって組織力を最大化～ 16:15 閉会	リンクモア平安閣市民ホール 青森市柳川 1-2-14 (017-722-3770)	参加費(資料代) 【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
	9:30～16:00 ポスターセッション	ねぶたの家 ワ・ラッセ 青森市安方 1-1-1 (017-752-1311)	
		リンクモア平安閣市民ホール	

■ エクスカーション

日 程	内 容	参加費
8月25日(土) ～8月26日(日)	Aコース 浅虫温泉夜なべ談議と八甲田丸"マグ女セイカン博覧会"、三内丸山遺跡コース	A 25,500円
	Bコース 弘前夜なべ談議と弘前城スマートグラスツアー体験、弘前街歩きコース	B 24,800円
	Cコース 八戸夜なべ談議と館鼻岸壁朝市、市直営街なか賑わい創出施設コース	C 28,500円

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

《 8月24日 (金) 》

■ 基調講演

講演者 三村 申吾 青森県知事

演 題 「人は財（たから）～あおもりを愛する人づくり～」

概 要 青森県は、豊かな自然環境の中で、自然のリズムやゆったりと流れる時間を大切にしながら、生きることの価値やすばらしさを実感して暮らすことができる社会、そして、自らの人生や新たな物事にチャレンジする意欲がわいてくる社会など、県民が安んじて生きられる、そして輝いて生きられるような社会の実現を目指してきました。

このような社会を実現していく上で、最も基本となるのは、人の財（たから）、すなわち「人財」であり、人財の育成こそがあらゆる分野の根幹をなす、未来の青森県づくりの基盤となるものであるとの考えから、様々な取組を進めてきました。

ふるさとを愛する気持ちを原動力として、ふるさとの元気をつくるために挑戦していく、チャレンジ精神あふれる人財の育成について、皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

〈 講演者プロフィール 〉

三村 申吾（みむら しんご） 青森県知事



昭和 31 年青森県生まれ。東京大学文学部卒業。平成 4 年百石町長（1 期）。平成 12 年衆議院議員当選後は、衆議院総務常任委員、衆議院農林水産常任委員、衆議院懲罰常任委員、衆議院災害対策特別委員を歴任。平成 15 年に青森県知事当選。現在 4 期目。

■パネルディスカッション

演題 「人口減少時代における地域の明日を考える

～地域力・地域資源を活かすしごと創りへの挑戦～

概要

人口減少・少子高齢化や経済のグローバル化など、我が国を取り巻く環境は著しく変化しており、地域がこうした時代を生き抜き、次代を担う人たちによりよい形で引き継いでいくためには、地域で暮らす人たちが、自分のまちのを知り、まちの価値や課題を見つめ直した上で、地域づくりを進めていくことが求められています。

先人たちの努力によって培われてきた歴史・文化や自然など、強みとも言える貴重な地域資源を数多く有している青森においては、特に、地域力・地域資源を活かすしごと創りの取組に力を入れており、各分野で活躍するパネリストが、しごと創りに関するそれぞれの事例などを紹介しながら、地域の明日(地域の活性化)やまちづくりについて討論します。

コーディネーター

西村 幸夫 (にしむら ゆきお) 神戸芸術工科大学 教授

1952年福岡県福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、平成8年より東京大学大学院教授。平成30年4月から神戸芸術工科大学教授。専門は都市計画。工学博士。自治体学会理事長、日本イコモス国内委員会委員長。主な著書に『県都物語』(有斐閣)、『都市保全計画』(東大出版会)『環境保全と景観創造』(鹿島出版会)、主な編著書に『都市経営時代のアーバンデザイン』(学芸出版社)、『都市美』(同)など。「縄文遺跡郡世界遺産登録推進専門家委員会委員」を務めるなど、青森県との関わりも深い。



パネリスト (五十音順)

内海 弘次 (うつみ こうじ) 株式会社内海青果 代表取締役

1956年青森県青森市生まれ。平成18年に株式会社内海青果4代目代表取締役に就任。同社は青森市産の伝統野菜や西洋野菜を全国に本格流通させようという「あおもり魅力野菜プロジェクト」(通称「アオベジ」)に参画。その販売拠点となる直営店「ベジタブルショップ・ウツミ」を昨年7月にオープン。野菜を通して短命県返上に取り組んでいる。



大崎 陽一 (おおさき よういち) あおもり地域ビジネス交流センター プランナー

1981年愛媛県宇和島市生まれ。山梨学院大学卒。2011年にJBIA(日本ビジネス・インキュベーション協会)認定IM(インキュベーション・マネージャー)取得。6次産業化アドバイザー、21あおもり産業総合支援センターIM、あおもり地域ビジネス交流センターIMを歴任。150件以上の創業者、中小企業を支援。現在、あおもり地域ビジネス交流センターIM兼中小機構地域活性化支援チーフアドバイザーを務め、創業者、中小企業者の支援を精力的に行っている。



小野寺 晃彦 (おのでら あきひこ) 青森市長

1975年青森市生まれ。東京大学経済学部卒。平成28年11月、市長に就任。長く市政の課題であった第三セクターの青森駅前再開発ビル(株)を平成30年4月に特別清算。社会情勢の変化を踏まえ、これまでの一極型の「コンパクトシティ」から多極型の「コンパクト・プラス・ネットワーク」を掲げるまちづくりへ方向転換。平成29年5月、スタートアップ都市推進協議会に加盟するなど、「挑戦を誇れる街」を掲げ、起業・創業支援に力を入れている。



木村 尚子 (きむら なおこ) mizuiro 株式会社 代表取締役

1979年青森県青森市生まれ。弘前市の専門学校にてデザインソフトを習得。青森県内の情報誌会社、デザインなどを経て平成24年に独立し、青森市にデザイン事務所「デザインワークスSTmind」を開設。野菜の粉末を原料にした、「おやさいクレヨンvegetabo」を発売。平成26年9月に法人化し、「mizuiro 株式会社」を設立。子ども目線の商品やサービスの提供に取り組んでいる。



大会統一テーマ
 「地域の財と未来づくり」
たから

< 基調講演 「地域の価値を確認し、未来を展望する」 (10:00~11:30) >

講師 岡崎 昌之 法政大学名誉教授・元自治体学会代表運営委員

< 自治体学会賞表彰式 (11:40~12:10) >

(昼食・休憩)

< 研究発表セッション (13:00~14:00) >

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告や研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

下表の5テーマ、9人(組)の発表が行われます。

テーマ、発表者の詳細は、自治体学会ホームページをご覧ください。

セッションA	議会
セッションB	医療・健康と情報
セッションC	政策法務・高齢化社会
セッションD	まちづくり
セッションE	産業廃棄物・非営利組織

< 分科会 (14:15~16:15) >

分科会 1 自治体職員のネットワークのイカし方	
<p>現在、自治体職員が参加する「ネットワーク」は、たくさんある。また、自治体職員が中心となり、民間の人たちを巻き込みながら運営している「ネットワーク」も増えてきた。この中には、アカデミックで伝統あるネットワークのほか、「つながる」ことを目的とした“ゆるやかな”タイプのものなどもあり、運営スタイルは実に多様になってきている。そして、当然だが、タイプに応じて、活動する目的や取り扱うテーマなどは異なっている。しかし、面白いことに課題は共通している。それは、これらの活動で得たものを、自治体職員として、仕事や地域活動に、どう活かしていくべきか?ということだ。</p> <p>本分科会では、東北まちづくりオフサイトミーティング(以下「東北OMJ」)のメンバーを迎え、自治体学会と東北OMの活動を比較しながら、ネットワークが抱える共通課題「ネットワーク活動の活かし方」について、フロアとの対話を通して紐解いてみたいと考える。</p>	<p>●パネリスト 山崎 栄子(大野城市教育委員会教育指導室係長) 佐々木 絵理(弘前市相馬総合支所総務課主事) 岩間 望(宮城県石巻保健所主事)</p> <p>●コメンテーター 後藤 好邦(山形市企画調整部企画調整課課長補佐(兼交通企画係長))</p> <p>●コーディネーター 佐藤 啓二(青森県おいらせ町商工観光課課長補佐)</p>
分科会 2 都市と農山漁村の共生	
<p>都市にとっての農山漁村の意味、農山漁村にとっての都市の意味を、これからの自治体経営・国土構造・地方制度のあり方として考える。都市にとっての農山漁村は、都市に食糧・エネルギー・人間を供給する場というよりも、都市が忘れた「自然と折り合って暮らす豊かさ」「共同体の中で暮らす幸せ」という環境思想と生活文化を保存する場だろう。他方、農山漁村にとっての都市は、多様な個性をもった人間が集積して新しい時代の思想や文化を創造し続ける場であるはずだ。工業化・都市化が終わった今、都市中心に上からの統治を目指すのではなく、都市と農山漁村を「互いに互いを必要とする関係」とみて連帯する方向を、青森・秋田で地域おこし協力隊を経験した若い世代の報告を聞いて考える。</p>	<p>●パネリスト 大森 彌(東京大学名誉教授、自治体学会顧問) 宮口 侗迪(早稲田大学名誉教授、総務省過疎問題懇談会座長)</p> <p>●コーディネーター 青山 彰久(読売新聞東京本社編集委員)</p>

分科会 3 「シェアリング」エコノミーと自治体政策

海外では2000年頃からシェアリングサービスが始まり、Airbnb（民泊仲介サービス）やUber（ライドシェア）といったシェアリングサービスを行う企業が活動を行っており、日本でも2010年頃から「シェアリング」を活用したサービスが増えてきました。そうした中、シェアリングサービスを地方創生に生かそうとする自治体の取り組みも始まっています。

この分科会では、現在、実際に取り組みを行っている自治体の職員、NPOの方々へ実際の取り組み状況を紹介していただき、取り組みを行う中で、①どのような効果が表れ、②どのような課題が生じているのか、③今後の展望等について議論していただきます。今後より多くの自治体が政策としてシェアリングサービスを活用し、地方創生に繋げていくことを目的としています。

- パネリスト
石上 涼子（多久市商工観光課商工観光係長）
柿崎 弘樹（湯沢市協働事業推進課魅力創造班主査）
齋藤 丈夫（やまがた福祉移動サービスネットワーク代表）
- コーディネーター
岡田 英幸（愛知県振興部情報企画課主幹）

分科会 4 へき地医療の現状と課題～へき地における健康政策と保健所機能を中心として～

都道府県及び市町村では、へき地医療対策として、①医療従事者の確保及び資質向上を始めとする医療資源の充実、②ドクターヘリの導入やICTの活用といった医療資源の有効活用に取り組んでいるが、今後、医療資源の充実はより困難になり、有効活用にも限度がある。そのため、できるかぎり、人々が健康的な生活を過ごし、医療を必要としないような健康政策を実施していく必要がある。

市町村では、健康診断の受診勧奨や保健指導を実施しているが、保健所との連携が課題であるとの指摘もなされている。保健所は、医師、看護師などの専門職種によって構成され、市町村とともに効果的な健康政策を実施していく役割を担っており、へき地医療対策に多大な役割を發揮できるものと思える。本分科会では、へき地医療の現状と課題を、健康政策のあり方と保健所の果たすべき役割という視点から検討してみたい。

- パネリスト
鳥谷部 牧子（青森県むつ保健所健康増進課長）
飯田 貴子（青森県野辺地町健康づくり課長）
石井 敦子（和歌山県立医科大学保健看護学部講師）
- コーディネーター
古城 隆雄（東海大学健康学部
健康マネジメント学科准教授）

分科会 5 だれもが「住民」として守られるために～避難者・困窮者の現場から～

その地域に存在しながら「住民」としての権利義務を適正に享受できていない人がいる。例えば福島原発事故により元の自治体に住民票を置いたまま避難先で生活している人。例えば居所を持たない路上生活者。DVから逃れてきて住民票を動かさない人。本来もっとも守られるべき弱者・少数者が、住民登録制度（住民基本台帳）から漏れることを理由に、人並みの権利義務を行使できないのは、「住民の実態」と「住民という既存の概念で作られた現行制度」にずれが生じているからではないかという仮説のもとに、政策法務の視点をまじえて議論していく。

地域に間違いなく存在しているその人を守るために、少数者であるからこそ丁寧に耳を傾け、正しく実情を認識し、現行制度の問題点や、現行制度の中でも私たちに出来ることは何かを考える。

- パネリスト
渡部 朋宏（福島県会津美里町総務課総務係長）
池下 英理子（多賀城市自立相談支援窓口主任相談員）
津軽石 昭彦（関東学院大学法学部教授）
- コーディネーター
矢野 奨（河北新報社盛岡総局長兼論説委員）

分科会 6 (地元企画) “あるもの活かし”の地域経営とインバウンド観光

国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持し、地域社会を発展させる鍵として、「観光」「地域経営」「地域イノベーション」に注目が集まっている。特に、2012年には1,000万人に満たなかったインバウンド観光客は近年急増してきており、昨年は過去最大の2,869万人となった。青森県における外国人延べ宿泊者数は2012年から昨年にかけて6倍以上になるなど、インバウンド観光振興に成功している。インバウンド需要が高まる中、どのように地域ブランドを形成して地域資源に活かし、コミュニティ形成を図っていく必要があるのか。地域経済にお金がまわり、付加価値の高い地域ビジネスを展開していくためには、何がポイントとなるのか。青森県における産官学連携＝協働による「あるもの活かし」の視点を踏まえつつ、「地域経営」及び「地域イノベーション」に向けたインバウンド観光の具体的な取組を検討する。

- パネリスト
蝦名 正晴（八甲田ローブウェー株式会社社長）
盛 健一（青森スノーランド活性化協議会事務局長）
西谷 雷佐（たびすけ合同会社西谷代表）
清野 浩輝（青森県観光国際戦略局誘客交流課主幹）
- コーディネーター
遠藤 哲哉（青森公立大学・大学院教授）

分科会 7 (公募企画) 行政組織における“参謀機能”～首長と職員のかげ橋となって組織力を最大化～

地方創生の戦略実現には、地域の財とつながることが大事だが、行政組織内の首長と行政職員との間には、果たす責任と仕事観、組織観、人生観に違いがある。さらに、マニフェストを掲げ、スピードと成果を求める首長と、定数削減され、限られた予算の中で、複雑化する地域の課題と、多様化する民力の活用や協働、高度なリスク管理に向き合う職員との間のギャップは大きくなっている。

“参謀機能”とは、首長のリーダーシップのもと、トップダウンとボトムアップをうまく連動していくマネジメントである。自治体改善マネジメント研究会ではマネジメントプロセスの着眼点を明確にした「行政参謀ステップアップシート」を開発した。本分科会では、これをもとにパネラーから各着眼点における実践経験を紹介し、“参謀機能”の意義と向上策を探っていきたい。

- パネリスト
中川 照文（尼崎市企画財政局政策部長）
本田 一泰（文化庁地域文化創生本部事務局上席調査役）
浦本 佳行（京都府精華町総務部次長）
- コーディネーター
金谷 一郎（大阪経済法科大学
21世紀社会総合研究センター客員教授）

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

自治体学会事務局からのお知らせ

◆自治体学会（8月25日(土)）の参加者受付について

- ・受付場所：リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）1階ロビー
- ・受付時間：9時30分から受付を開始します。
午後から参加される場合でも、必ず、受付を済ませてください。

◆自治体学会総会について

- ・自治体学会の総会は午前9時00分から9時45分までの予定で、リンクモア平安閣市民ホール2階のホールで行います。
- ・総会に出席される学会員の方は、午前9時までに直接会場にお越しください。
- ・総会終了後、基調講演開始前あるいは休憩時間等に適宜参加者受付を済ませてください。

◆基調講演・研究発表セッション・分科会等会場について

- ・リンクモア平安閣市民ホールが会場です。分科会（午後）の一部はねぶたの家ワ・ラッセで開催します。会場の一覧表を当日受付で配布いたします。（二つの会場は約400メートル離れており、徒歩で約5分。）

◆昼食会場について

- ・リンクモア平安閣市民ホール周辺に飲食店はありますが、昼の時間帯は混雑が予想されますので、昼食を持参するか、弁当の予約をお勧めします。
- ・昼食をおとりいただける場所は、当日配布する会場図をご覧ください。

YAHOO! 路線情報
JAPAN

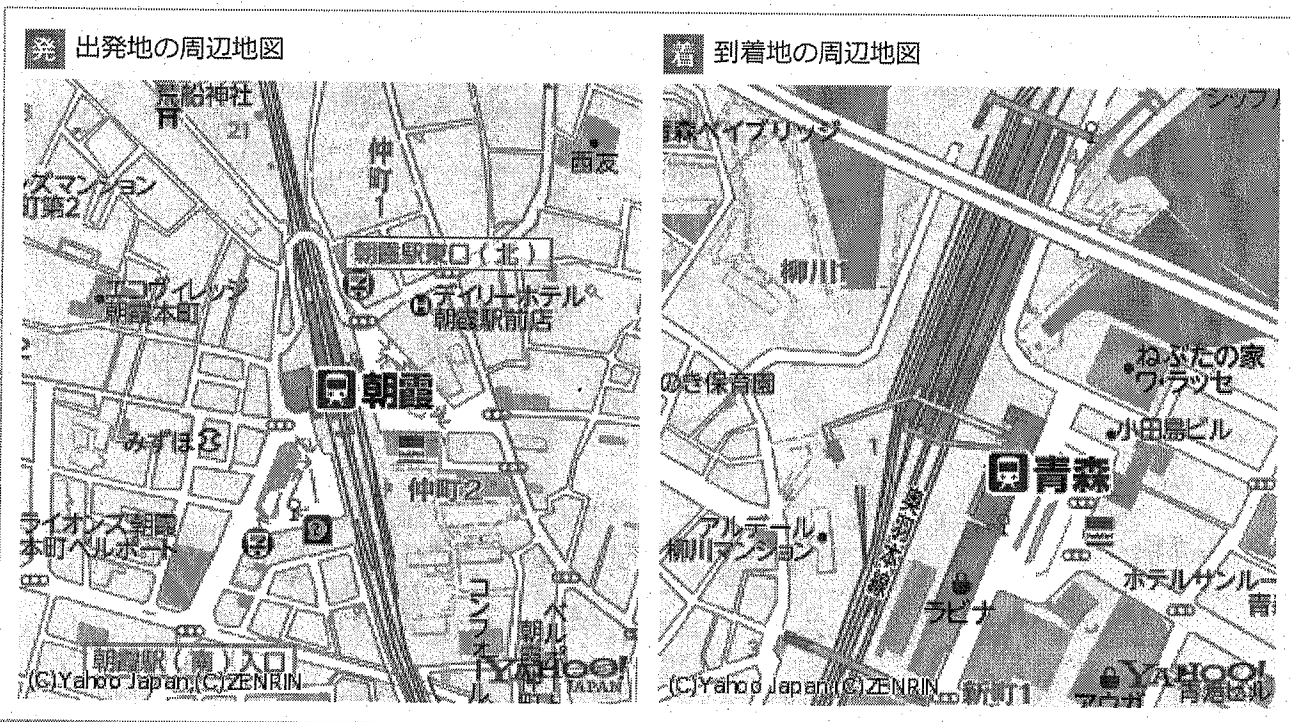
朝霞→武蔵浦和→青森 2018年08月24日15:30到着

11:33発→15:20着 3時間47分(乗車3時間13分)

乗換：4回 704.1km



IC優先：16,964円 (乗車券10,294円 特別料金6,670円)

11:33	発 朝霞	乗車位置：中/後[8両] 前/中/後[10両]
東武東上線準急・森林公園行 1・2番線発→1・2番線着 144円		
11:36着 11:37発	朝霞台	
徒歩		
11:39着 11:44発	北朝霞	乗車位置：後[8両]
2駅	J R 武蔵野線・東京行 2番線発→1番線着	10,150円
11:51着 11:59発	武蔵浦和	乗車位置：前/中/後[10両]
5駅	J R 埼京線・大宮行 5・6番線発	
12:11着 12:22発	大宮(埼玉県)	
4駅	J R 新幹線はやぶさ53号・新青森行	指定席：6,670円
15:08着 15:15発	新青森	
J R 特急つがる3号・青森行		
15:20	着 青森	
















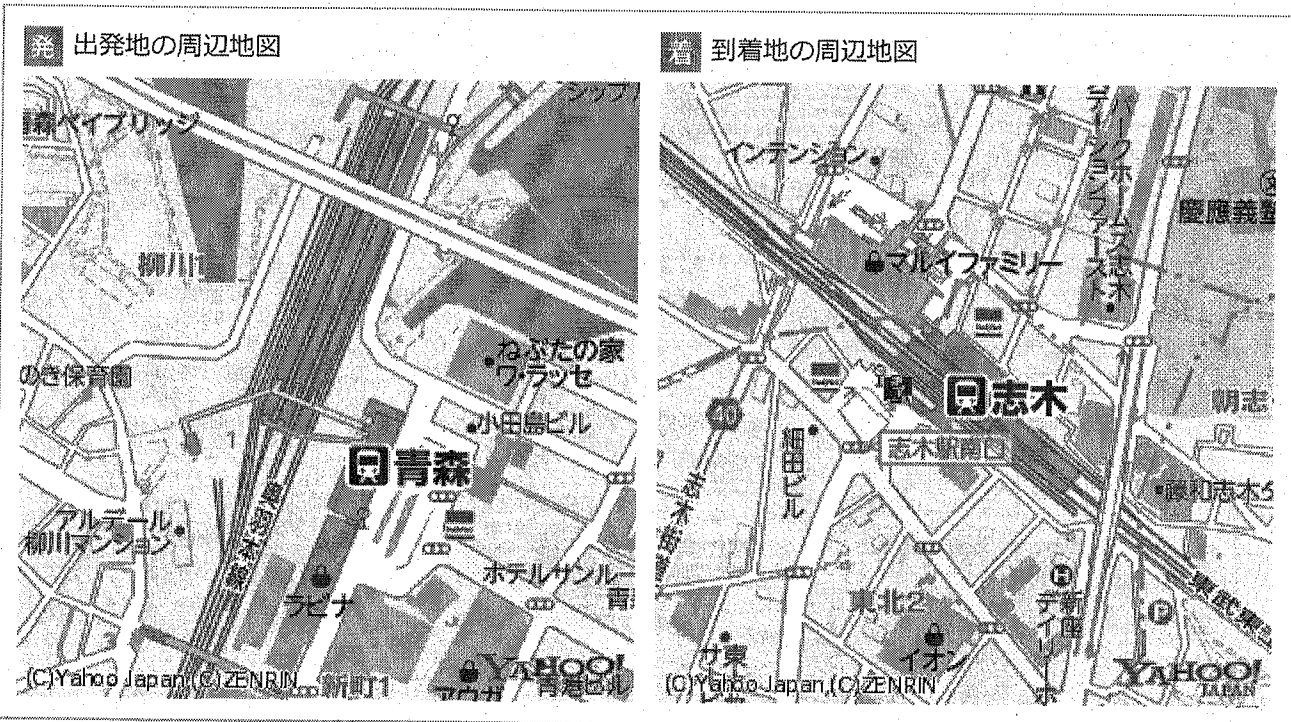
YAHOO! 路線情報
JAPAN

青森→志木 2018年08月25日18:00出発

18:10発→21:49着 3時間39分(乗車3時間0分)   乗換：4回 703.1km

IC優先：16,964円 (乗車券10,294円 特別料金6,670円)

18:10	 青森	
	 JR奥羽本線・津軽新城行 4番線発	10,150円
18:14着 18:24発	 新青森	
3駅	 JR新幹線はやぶさ38号・東京行 11番線発→14番線着	指定席：6,670円
21:00着 21:12発	 大宮(埼玉県)	乗車位置：中/後[10両]
5駅	 JR埼京線・新木場行 20番線発→3・4番線着	
21:23着 21:35発	 武蔵浦和	乗車位置：前/中[8両]
2駅	 JR武蔵野線・府中本町行 2番線発→1番線着	
21:42着 21:44発	 北朝霞	
	 徒歩	
21:46着 21:47発	 朝霞台	
	 東武東上線急行・小川町行 1・2番線発→1・2番線着	144円
21:49	 志木	



政務活動費 領収証貼付台紙

研修研究費

【調査協賛】

開催日時 2018年11月4日 13:00~16:00

支払日 2018年11月4日

精算日 2019年3月19日 (19)

研修内容 「大阪北部地震の経験から議員・議会の災害対応を考える」

主催者 政策議会研究所 (龍谷大学土山研究所内)

会場 龍谷大学深草学舎紫光館

金額 32,286 円

内訳 参加費 1000 円

志木→京都往復交通費

志木→池袋 東上線交通費 308 円

池袋→東京 地下鉄交通費 195 円

東京→京都 新幹線交通費 12830 円

京都→地下鉄くいな橋 地下鉄交通費 210 円

合計 13543 円×往復

宿泊費 ヴィアイン京都四条 4200 円

領 収 証

黒川 滋 様 30 年 11 月 4 日

★ ¥1,000 -

但公開研究会 参加費

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

政策議会研究所

NK-1015RS

JR西日本グループ
VIA INN
領収書

知加サトル様

領収金額 ¥4,200

(内消費税 ¥370 / 内宿泊税 ¥200)
現金にて領収いたしました。

ヴィアイン京都四条室町
京都府京都市中京区室町
通錦小路上ル山伏山町551-2
TEL:075-256-6111

印紙税申告納
付につき尼崎
税務署承認済

(株)JR西日本ヴィアイン
作成地:
兵庫県尼崎市
潮江1丁目2番12号

取引番号:006002P110407709 2018/11/04 22:43

お部屋番号: 818
お名前 : 知加サトル様

JR西日本グループ
VIA INN
領収書

知加サトル様

領収金額 ¥4,200

(内消費税 ¥370 / 内宿泊税 ¥200)
現金にて領収いたしました。

ヴィアイン京都四条室町
京都府京都市中京区室町
通錦小路上ル山伏山町551-2
TEL:075-256-6111

印紙税申告納
付につき尼崎
税務署承認済

(株)JR西日本ヴィアイン
作成地:
兵庫県尼崎市
潮江1丁目2番12号

取引番号:006002P110407709 2018/11/04 22:43

お部屋番号: 818
お名前 : 知加サトル様

EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月 4日
¥12,830 3302/〒2128 東京6205
000005909940

東京 ▶ 京都
9:10発 11:25着
のぞみ 19号 6号車 12番A席

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月 5日
¥12,830 3302/〒2131 京都6104
000743854368

京都 ▶ 東京
15:12発 17:30着
のぞみ 374号 6号車 16番E席

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。